

## 2022 年度国リハ式<S-S 法>言語発達遅滞検査(改訂第 4 版)講習会 報告

日時: 2022 年 10 月 22 日(土)~11 月 19 日(土)

場所: 中小企業会館(東京都中央区)会議室よりライブ講義配信・オンデマンド方式

2022 年度の国リハ式<S-S 法>言語発達遅滞検査講習会は、昨年度に引き続き、オンライン・オンデマンド方式での開催でした。講習会は従来と同様、講義と実習で構成されており、オンラインのライブ講義は 3 回に渡り、その間にオンデマンド講義を視聴する形でした。



ライブ講義では、検査の概要や手順、症状分類に関する講義、検査の実際の紹介や操作実習が行われました。操作実習では、絵カードや事物はめ板などの検査用具を用いて、講師が解説し、デモンストレーションしたのちに受講生も実際にやってみる模擬練習を行いました。検査教具が手元にない受講者も事前に送付した実物大コピーを使って練習しました。



机上の検査教具と子ども役をカメラで大きく映して、受講者が子どもの反応を見ながら、検査するイメージを持ちやすくしました。講義中のデモンストレーションでは、子どもがスムーズに反応できた場合や誤反応の場面だけでなく、注意がそれる、絵カードを取りたがらない、離席するなどへの対応方法も示されるなど、実践的な内容となりました。

オンデマンド講義ではベーシックとアドバンスという 2 段階のレベルを設定しました。ベーシックでは VTR を見ながら記録と評価のまとめの記入実習を行いました。アドバンスでは実際の事例を取り上げて、評価から働きかけの経過について学習



しました。受講者は一時停止や繰り返しを用いながら VTR を視聴し、働きかけによる事例の変化を確かめることができました。

講義中の口頭やチャットによる質疑応答の他、後日生じた疑問については開催期間中および開催後にも一定期間質問を受け付けました。質問内容は実施手順の疑問や、具体的な結果の解釈、コミュニケーションや言語発達全体に関する疑問、実際の臨床での困りごとへの対応など、多岐に渡りました。質問は 50 件を超え、講師陣がライブ講義中に口頭でお答えしただけでなく、後日新たにスライドも加えてご説明しました。講義終了後にいただいた質問には、後日全員にメールで返答しました。

受講者からの発信により内容が深まり、オンラインでありながらも双方向性の講義となりました。以下に参加者の声を載せます。

#### <参加者の声>

- 今年度就職し、臨床現場でお子さんに関わるようになって改めて基礎から学び、とても勉強になりました。実際のお子さんの動きや表現、手続き上困ってしまうことなど、イメージしながら伺いました。特に誤反応時の対応が勉強になりました。
- 実際にデモンストレーションを実施されながらの講義で、且つお子様の予測される反応を示しながら実施されていた為、日頃実施している検査方法と比較しやすく、わかりやすかったです。
- ノーマルデータを知ることで、より<S-S 法>の結果の解釈をしやすくなったと感じました。
- 事物についての記録方法やサマリーの記入方法についても大変分かりやすく、理解を深めることができました。
- 検査結果や評価をまとめていくための観点が整理できました。また働きかけにどのようにつながるかをイメージしながら、検査を行うことや結果を解釈することが大切だと感じました。
- 質疑応答の時間では、皆さんが疑問に思われている点を一緒に聞くことができ、またその質問に対する返答を聞くことができる形式で行われていた点が、より理解を深めることができよかったです。
- 講義は丁寧でとても分かりやすかったですし、子育て中でなかなか家を空けることが難しいため、オンラインという形がとてもありがたく感じます。
- (オンデマンドは) 一時停止をしながら視聴し、自分のペースでできたことが良かったです。